



島のひかり ホームページアドレス
<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>



発行

カトリック浦頭教会
 広報委員会
 五島市平蔵町2716
 TEL 0959-00072
 印刷・(株)才津印刷所

再出発の中で

おめでとう

主任司祭 岩崎 晋吾

主のご復活おめでとうござい
 ます。また新教皇様の誕生も合
 わせてお慶び申し上げます。

復活の「おめでとう」は全世
 界に向けた再生、再出発の祝福
 です。産まれて「よし」とされ
 た私たちも生きていれば「つま
 らない」と言われ、「だめなや
 つ」とレッテルも貼られる。い
 つの間にか「よし」とされた真
 実の私を失ってしまい、おめで
 とうの言葉も無関係になって萎
 えていく人生の半ばで、こうし
 てもう一度「おめでとう」とい
 う祝福の言葉をかけられるので
 す。それは「よし」とされた真
 実の私への回帰でもあります。
 私たちは復活し（再び生き活き
 と）新たにまた始めていくこと
 ができます。

今年の復活のお祝いは、特に
 再生・再出発する恵みを感じて

います。その理由の一つは、四
 旬節中のフランシスコ新教皇様
 の誕生です。

就任されてからの新教皇の言
 葉が心に響きます。「神様の創
 造を愛し守っていきましょう。」
 「創造を愛し守る」という言葉
 は大切です。神は全世界におい
 てまだ何かを創ろうとしておら
 れる。それは一体何なのでしょう
 うか。その答えも教皇様の言葉
 にあります。「私たちは貧しい
 人や弱い立場にある人、苦しん
 でいる人の為にできることがた
 くさんあり、正義の実現や和解
 の促進、平和の建設に貢献でき
 るはずです。」教会の立ち位置
 は常にイエスと同じはずです。
 自ら質素に生きて、貧しい人々
 と共に生きた新教皇は、教会が
 イエスと同じ立ち位置にいてこ
 そ神の創造を愛し守ることにな
 る、と言われていと思われま
 す。今年の復活祭は全教会の再
 出発の時でもあります。

キリストの教会が新しい次の
 時代を迎えようとしています。

御支援に感謝して

木口利光

二月三日投票の五島市議会議員選挙におきましては、浦頭小教区や地元奥浦の皆様及び下五島各小教区はじめ、市内各地各層の皆様から心温まる御支援を賜わり、再び市議会の議席を頂きました事、心より感謝申し上げます。

議会活動において市民の皆様への「信頼」に耐えうる仕事を果たさなければ、私が議員である意味は無いという思いを強く心に刻み、四年間の職責を果してまいりたいと思っております。

二月末にはさっそく市議会も開会し、三月二七日には今年度の五島市当初予算が成立しました。

この予算では築後五〇年を超える福江小改築や消防庁舎建設、防災行政無線等、安全な町づくりのために必要な事業を含むため、三―四億円の大型予算となりましたが、離島振興法を活用した農水産品の流通経費助成や

椿の島づくり支援、しま共通地域通貨発行等、農業・漁業・観光の産業活性化を色濃く反映した予算となっております。

世界遺産登録につきましましては、夏の文科省文化審議会で、国からユネスコに推薦される資産になるかどうか大きな山場になります。三月一六日には下村文科大臣が来島され、「長崎の教会群：」は推薦の最有力候補だと表明されました。

信仰の場を守りつつ、雇用等島の活性化に資する道はないか、「巡礼」の名に値する教会巡りを目指し、しっかり活動していきたいと思っております。

奥浦の地には地域の活性化に熱意をもった方々が沢山おられますし、その一員として一緒に仕事ができる事は、私の大きな心の支えです。

今後とも初心を忘れず微力ではありますが、市政の一翼を担ってまいりたいと思っておりますので、変らぬ御支援を頂きます様よろしくお願い致します。

平成25年度 浦頭小教区評議会役員名簿

評議会会長(主任司祭) 岩崎 晋 吾		信仰教育委員会 委員長 赤尾 健野 副委員長 入口 明宏 会計 鍋内 秀喜 委員 小学校 浜崎 毅 中学校 浜崎 秀明	
議長 本村 義則 副議長 長鍋 内誠 書記 長入 口幸 計 浜木 口利	地区委員会 委員長 会計 (地区委員) 浦頭 木口 和雄 (補佐委員) 赤尾 八千代 赤崎 政治 浦 卓子 大泊 梅木 征至 梅木 強 浜泊 富上 進 浜崎 忍 堂崎 浦 勝己 白濱裕佳子 嵯峨瀬 谷口 英子 宮原 大楠 進 大楠 末子 半泊 宮川 喜一	修道院長 Sr赤須美子 カテキスタ Sr向井 (小1、2年) Sr大水 (小3、4年) Sr藤原 (小5、6年) 岩崎神父様 堅信組(中1)	典礼委員会 委員長 副委員長 委員 浜崎 和利 山本 一夫 浦口 一三 浜崎 秀明 荒木 義弘 浜口 幸隆 小田 哲也 浜崎 毅(聖歌担当) 浜崎 哲司 鍋内 孝之 江口 初子 川口 秀子 赤尾 克子
経済問題委員会 (堂崎天主堂保存委員会) 委員長 赤尾 一美 会 計 木口 利光 鍋内 誠次 小田 洋市	シメオン・アンナ友の会 会 長 鍋内 孝 副会長・書記 赤尾 スエミ 会 計 鍋内 絹 恵	広報委員会 委員長 竹山 要司 副委員長(島のひかり編集長) 木口 重憲 会 計 赤尾 淳 委 員 竹山 巧 入口 信 浜崎クニ子 江口 初子	
壮年会 会 長 浜口 告公 副会長 長鍋 内康 書記 会 計 鍋内 総長	青年会 会 長 副会長 書記 会 計		
	婦人会 会 長 川口 登久代 副会長 梅木 小百美 書記 会 計 入 口 君 子		

高見大司教様 公式訪問と堅信式

一月二〇日、下五島地区合同堅信式が行なわれるに当って、今回は、浦頭小教区が公式訪問の順番になっていたため、大司教様は前日の夕方、福江港に到着。その後、浦頭の信徒四〇名と夕食を共にした。

いつものことながら、シメオンのメンバーには魚料理を準備していただき、婦人会には吸い物を作ってください、テーブルをにぎわせてくれました。感謝します。

翌日、八時のミサは大司教様司式によるミサでした。



ミサ後に受堅者と両親の紹介があり、大司教様に花束・謝礼が贈られ、感謝の言葉が述べられた。十一時より福江教会に於いて堅信の秘跡が行なわれた。

下五島で二十七名の受堅者があり、浦頭は五名でした。この大きなお恵みをいただいた受堅者は、信仰的にも人間的に大きく成長していくことでしょう。

受堅者は次のとおり。

梅木 竜二 (強・マリ子)

川口 大輔 (政俊・香)

谷尾 愛 (梅吉・ミツヨ)

赤尾 鈴香 (健野・克子)

入口 綾乃 (庄二・のぞみ)

初聖体を終えて

おかげさまで、二月一〇日無事に子供が初聖体をいただくことができました。これまで指導、準備してくださった岩崎神父様、赤窄園長先生をはじめ、保育園の先生方、小教区の皆様、本当にありがとうございます。

二週間ほど前でしたが、「あの教会でもらう丸いやつはおいしかと、あじのすつと？」と聞いてくるようになり、次に白いベールのこと、どんどん近づくとつれ、前髪を切って！虫歯でよかと？おもしろくもありました。子供を見ていると、本当に毎日のように楽しみを探し出します。おっきいクモがおる。じいちゃんが山に行く、ばあちゃんか芋の天ぷらをして、などなどこのような何でもないようなことに、大きな声をあげて喜び走り回る……。

きっと純粋な子供にとっては初聖体という出来事は、とても

とても大きな事件なのでしょう。『はっきり言っておく、心を入れ替えて子供のようにならなければ、決して天の国に入ることはできない』

一番、大喜びしているのは、きつとイエス様だろうと確信しました。

濱崎 奏多 (毅・久美子)

木口 空斗 (北斗・育美)

白浜 結羽 (武・生路)

鍋内 楓蓮 (清・百合恵)

小田 凜花 (哲也・ルミ子)

鍋内 理子 (総長・純子)

人物往来

奥浦修道院

《転出》

ありがとうございました。

Sr 田川美恵子 福見修道院

Sr 松崎由紀代 三井楽修道院

《転入》

よろしくお願いします。

Sr 木口 松枝 十字修道院

Sr 大水 友美 新戸町

Sr 向井 春菜 修練院

移動信徒の集い

3月16日

三月十六日、夕方より移動信徒の集いが行なわれた。今年の移動者は十一名でしたが、七名の参加があり、それぞれ夢を語っていたいただきました。両親や教会役員もアドバイスして送り出した。

♡二次試験の直前、自分は勉強するのではなく、祈った。合格発表の時はすでに結果は決まっているにも関わらず、母や叔母はその日の一番ミサに行っていた。そのおかげか（自分の力か）春からは無事大学生だ。今まで祈ってもらった分、これからは母や他の人の為に祈ろうと思う。
木口 瑞玖

♡いつも温かく見守って下さった地域のみなさん、今まで本当にお世話になりました。私は四



月から広島県に行くことになりました。広島への出発の日が近づくとつれて、五島を離れるのはさびしいなという気持ちと、新たな環境で勉強や遊んだり出来る期待とで複雑な気持ちになっています。五島で過ごした十八年間の思い出を忘れず、大学でひと回りも、ふた回りも成長できるよう頑張りたいと思います。
川口 香澄

救急救命士目指して大阪でがんばってきます!!
I♡LOVE浦頭。川口祐樹

最初の給料は親に送ります。西尾でも頑張ります。浦頭に帰ってくる～浦口聖志

いっーぱいお世話になりました!! これからもよろしくお願いします。
川口香澄

笑顔で元気に頑張ります。さよならー。沼田華佳

あっちでは教会にいこうと思います。あと仕事はやめずにがんばります。
赤尾滯太

2013 03 16

また五島に帰ってくるよー。幸せになります。
浦口

東京行って、いい女になって、カッコいい彼氏つくって、車とかバイクの免許とって、ちゃんと勉強して海外に行きます。ムリだ。木口瑞玖



愛は行動を伴うもの

神の愛は無限...あなたは!?

贈る言葉

- | | | | | | | | | | | |
|----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|
| 泰和香(のどか) | 沼田華佳(はるか) | 泰瑞希(みずき) | 木口瑞玖(みく) | 川口香澄(かすみ) | 濱崎達也(たつや) | 川口裕樹(ゆうき) | 浦口優志(まさし) | 浦口聖志(さとし) | 出口航佑(こうすけ) | 赤尾滯太(りょうた) |
|----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|

ギバルシかないね!!

ゴールは...?

ここがスタート!!

司祭団マラソン大会

毎年恒例の司祭団マラソン大会が一月二十九日に行なわれた。

参加者は二十名位で、福江教会を十時にスタートした。奥浦線木ノ口バス停折り返し、約十キロで健脚が競われた。ジョギングチームも五、六名、六方折り返しで頑張った。沿道には神父様を応援しようと、幼児から大人まで声援が飛びかった。終了後、福江信徒会館でおいしい酒を飲んだようです。

- 一位 新立大輔神父様
- 二位 岩下裕志神父様
- 三位 浅田照明神父様



神父様の

霊名のお祝い

3/3

桃の節句、この日、一ヶ月遅れのパウロ三木の霊名のお祝いをした。(二十六聖人の一人であり岩崎神父様の守護の聖人)この時期は西坂に行き御像の前でお話をするのだそうだ。想像するに、その昔、信じていることを人に言うだけではなく態度で示し、そして殉教。パライソは近くにあったのだろうか：殉教は無理としても神父として出来ること、喜ばれることは何かと？幸福な時を過し、現実は皆さんのお祈りがあってこそ頑張れるのだと気付くと言う。そこで愛と感謝をこめ神父様の健康と、控え目なジョークと共に捧げられる、神父様の「意向」が叶えられますよう祈ります。



黙想会

今年の黙想会は夜の部が三月五日から、昼の部が六日から三日間行なわれました。指導司祭は稲佐教会の中浜敬司神父様で、「み言葉で信仰年を生きる。」のテーマでお話をして頂きました。黙想会を終えて感謝式があり、議長竹山要司さんから感謝の言葉がありました。

『中浜神父様、御多忙の中、浦頭小教区黙想会を御指導して下さい有り難うございます。おだやかな口調で話される神父様、信徒は興味津々です。』

最初の話では子供が祈りをせず、神父様のマリア像を壊した事件、この事がきっかけでマリア様ごめんなさいの祈りへと進んで行きます。また、教会にこない子供のためにマリア像が各家庭に訪問すると、マリア様をもてなし祈る様になった。この発想は素晴らしい結果となりました。

さて、今回の黙想はキリスト

が行なわれた御業そのものがミサであると、ミサについての事柄が主体だったと思います。私達は何となくミサに参加していますが、これからは神の御教えを真剣に考えながら、これからの信仰生活に役立てていきたいと思えます。

キリストの手足となれる様、皆さん頑張ります。簡単ではありませんが、感謝の言葉と致します。中浜神父様、お疲れ様でした。これからの御活躍と御健康を、信徒一同お祈り致します。』



復活祭。ペタンク大会に 参加して

三月三十一日桜満開の復活祭。浦頭小教区では、昨年に続き復活祭。ペタンク大会が行われました。

心配された雨の予報も曇り空から晴れと天候にも恵まれ、二十チームの教会内外からの参加者が、和気藹々の内にゲームを楽しみました。小学生チームや家族チーム、友人チーム等、絆は十分。それぞれ勝負に賭ける者あり、楽しさを優先する者あり、笑いとお歓声の内に時間は過ぎ、終ってみると何と私達のチームが優勝という形になっていました。予選リーグではあまり調子が上がらず、やっと決勝リーグへ上がったので、優勝出来た事は本当にお恵みと言う他なかったと神様に感謝でした。この様な行事は、小教区内の親睦はもちろん、地域との繋がりにも良い事だと思えます。これから何かの形で続けて欲しいと思いました。色々準備して下さった

神父様、役員の皆様、本当にありがとうございました。

葉桜チーム 赤尾 敬子

おたより

編集部の皆様、いつもご苦労様です。根気強く取り組む姿を想像しながら読んでいます。

人数は減少し、年々淋しくなるふるさとですが、しっかりと地域と教会を支える人がいる限り、神さまの恵みは浦頭教会と信徒の皆様のおかげに注がれると信じています。

堂崎天主堂や浦頭教会で受洗した人びとが各地で、信仰のひかりを高くかかげられるようにと願い、祈っています。

お告げのマリア修道会本部

シスター 木口 直恵

十主の平和

いつも「島のひかり」送って下さり有難うございます。神父様の教会の（音を）読み、成人洗礼の私にも心に響くものでし

た。カトリックに導いてくれた、主人たち（両親）も帰天し、五島のことを知ることも「島のひかり」を引き続き送っていただいているから、つながっているかなあと感謝しております。

大宰府市大佐野 磯辺 末子

いつも島のひかり送って頂きありがとうございます。

北九州市 花村美千代

ありがとう

皆様からのおたより、御協力のおかげで「島のひかり」は続けていただいております。感謝とともにお礼申し上げます。

北九州市 花村 美千代 様

太宰府市 磯辺 末子 様

長崎市 赤尾 美知子 様

長崎市 お告げのマリア会

シスター木口直恵様

福岡市 赤尾輝幸様

長崎市 尾高修一 神父様

秘

跡

《転出》

ニコラオ 赤尾 滯太

(名古屋教区・刈谷教会)

パウロ 浦口 聖志

(名古屋教区・安城教会)

クララ 沼田 華佳

(大阪教区・夙川教会)

《帰天》

マリア 宮崎 フデ

(二月九日 八八歳)

テレジア 川口真佐代

(二月十三日 五十歳)

ヨハネ 入口慶四朗

(二月十四日 六歳)

ペトロ 濱崎 国幸

(三月十六日 五五歳)

《堅信》(二月二十日)

ミカエル 梅木 竜二

ヨゼフ 川口 大輔

マリア 赤尾 鈴香

テレジア 入口 綾乃

マリア 谷尾 愛

『風の音を聞きながら』

—四月初旬の心象風景より—

四月六日夜、暴風警報が発せられ、春の嵐が吹き荒れる突然の荒れ模様には五島全体が包まれた。

“ゴォー…ビュー”風の吐息が強く弱く、リズムを取りながら聞こえて来る。その間の静寂の中で、子供の頃の事が蘇って来る。

小さい頃は、夜明け前のまっ暗闇の中を、日曜日のミサに福江まで歩いて行く事が時々あった。

定かでない記憶の中に、祖母と歩いて行く、風の強い雪まじりの暗い道が浮かんで来る事がある。“ミサに行く道”思い込んでいる自分があるが、それが本当であるかどうか、今は確かめる物は何もない。

「腹が減っていない？」
「うん。」

小さなほら穴の様な所で、二

人で腰を降ろし、何も見えない夜空を見上げていた。そこで、記憶はとぎれている。

小学校時代は、兄と共に“ミサに行く道”を早足で歩いた。途中、火葬場があって、おどしおどしの様に「恐いよー。あそこは恐いよー。」年上の人達の会話の中で、何度でも様な話したが、足の疲れが先にあって恐さが襲う事もなかった。

火葬場が近くにある急坂を通り過ぎて、頂上から下がると、眼下に星が連なっていた。福江市街地に点々と広がる電灯の光は、当時の子供達にとって“都会の風景”だった。

福江教会であずかるミサは、“暗すみ”に慣れた眼に、まぶしい程の光を感じさせるそれでもあった。

まだ、外では大きな音を立てながら風が舞い踊っている。だけれども、風の声を聞きながら、“だれかの事”を思っているのだろうか。

ふるさと だより

浦頭に新築 鍋内 清

浜泊から浦頭に引越して来ました。浜泊では約十年間お世話になり、色々と地区の活動等勉強させて頂きました。ありがとうございました。家の方も小田洋一、大工さんに頑張ってもらい、家族四人快適に暮らせて頂いています。実家、鍋内孝宅のすぐ横になりますので、よろしくお願ひします。また、次女の楓蓮も今年から奥浦小学校に入学します。長女の玖伶彩共々、皆様のお世話になる機会が増えるかと思ひますので、よろしくお願ひします。



市営住宅 ついに 完成

奥浦の巷から、少しずつ欠けていく子供達の歓声。少子化の流れに小さな楔を打つべく、建ち上がった真白な住宅。

二〇一三年、春。入学式を間近に控えた奥浦小学校前に、八世帯入る事が出来る鉄筋コンクリート住宅が完成しました。四月三日現在で、六世帯二十名。小学生一名、幼児八名。残りの二世帯は再募集の予定。

賑やかさが、春の訪れと共に奥浦の地に戻ってくる“模様”。



市民駅伝 奥浦地区チーム

祝 男女アベック優勝



川口広平さん⇒濱崎毅さん

一月二十七日(日)、第9回五島市民駅伝が行なわれ、奥浦地区代表チームは見事に男女共、二位に大差をつけての優勝でした。男子では去年四月から里帰りし、木口汽船に勤めている川口広平さんが、4区を区間二位の記録で激走し、濱崎毅さんに襷を渡すと区間賞の走り、トップに大逆転で躍り出て、最終走者に渡し、そのまま逃げ切った。女子は1区の秦郁美さんが二位で好発進すると、2区の木口ひとみさん、最終走者の花村茜さんが区間賞の走りで完勝した。

懐かしい古巣へ

結婚を機に家を見て、昨年十月から鍋内でお世話になっております。

一日中走り回り、怪我也も絶えず友達と遊んでいたことが懐かしく、同時に長い間離れていた地元に戻り、新鮮さを感じています。

子供の頃は、近所の皆様にはご迷惑をおかけしたかと思いますが、温かく迎えて頂き、新生活をスタートできたことを嬉しく思っています。

これからは様々な教会の行事や活動に参加し、共に信仰を深めていけたらと思っています。何かと分からないことも多いので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。木口 誠也



「あぶらぼて放流」
コイの仲間



3月10日はEMダンゴ(川の浄化を助ける団子)作りも決行。

ほのかに暖かみを増し、そよ風が里山に流れ、小川をそつとなでる。川のほとりに一年程前に掘ったプールは、あぶんぜビジャーセンターの出口さんの手入れの良さもあり、本物の池になり、小生物の住み家になりつつある。日本の里山は世界でも稀に見るホットスポット(希少生物の宝庫)。三月十日、人工池に準絶滅危種のおぶらぼてを十五匹程放流。子供達は出口さんの説明にじっと聞き入り、輝く瞳を小魚にそそぎ込んだ。

編集後記

春が来た。卒業、入学、就職」と新たな道が始まった。

道といえ、奥浦線、南河原線、檜ノ浦線の道路を広げる拡張工事を進めている。

少し不便ではあるが、「ガマン、ガマン」。初めは、歩くだけの道それを車の通る道、バスの通る道、トレーラーが通る道、水たまりの多い道から、ジャリ道、そして、アスファルトやコンクリート道へと走りやすい道へと変わっていく。だけど人口が少なくなるのはなぜ？

私の信仰の道はどうだろう。親の歩いた道を素直に歩けばいいものを、立ち止まったり、横にそれたりしているのではないかと思う。黙想での気持ち。

自分の子は、後を確り歩いてほしいと思うのは、年をとったせいかな。これからも迷いながら自分のペースで歩いて行きます。

小田 洋市